

## 平成28年2月 斐伊川水系水質情報

平成28年2月(宍道湖:4日・中海:1日採水)							単位:mg/l(Chl-a:μg/l)					
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)		米子湾中央部					
COD	全層	3.6	△	やや低い	2.6	○	良	好	2.8	○	良	好
全窒素	上層	0.61	△	平年並み	0.56	×	やや高い		0.62	△	平年並み	
全リン	上層	0.030	○	良	好	0.038	△	平年並み	0.037	△	平年並み	
Chl-a	上層	15	△	平年並み	12	△	平年並み		10	△	平年並み	
塩化物イオン	上層	1,250	△	平年並み	6,020	○	やや低い		4,340	○	やや低い	
	下層	1,790	△	平年並み	11,400	◎	かなり低い		8,830	△	平年並み	
溶存酸素	上層	13.3			12.0				12.4			
	下層	13.6			9.1				10.5			

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
COD	全層	3.7	横ばい	3.4	やや下降	5.2	下降
全窒素	上層	0.40	上昇	0.41	上昇	0.52	横ばい
全リン	上層	0.020	横ばい	0.021	やや上昇	0.042	横ばい

宍道湖の透明度は2.3mから1.8mに下降したが、良好となっている。中海の透明度は2.9mから1.9mへ下降。米子湾の透明度は2.4mから1.9mにやや下降。

### 【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

#### 1. 水質値について

平均値+標準偏差値の3倍…… ★ <非常に高い>

平均値+標準偏差値の2倍…… ☆ <かなり高い>

平均値+標準偏差値 …… × <やや高い>

平均値-標準偏差値 …… △ <平年並み>

ただし、環境基準値以下の場合は<良好>とする。

平均値-標準偏差値の2倍…… ○ <良好>

ただし、環境基準値を下回らない場合は△で<やや低い>とする。

<やや低い>(塩化物イオン)

平均値-標準偏差値の3倍…… ◎ <かなり良好>

<かなり低い>(塩化物イオン)

#### 2. 水質変化について

前月値±標準偏差値の変化…… 上昇、下降

前月値±標準偏差値の1/2の変化… やや上昇、やや下降、横ばい

注) 平均値±標準偏差値 …… 全体のおよそ68.2%

平均値±標準偏差値の2倍… 全体のおよそ95.5%

平均値±標準偏差値の3倍… 全体のおよそ99.7%